

ひょうごの福祉

認め合いともしつながら 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

1
No.743

1月15～21日は
「防災とボランティア
週間」だよ!



年頭所感……P2

特集……P4

「ストップ・ザ・無縁社会」
絆つなげる 明日へつながる⑦
“無縁社会”から
“支え合い社会”へ

まちとつながる・住民とつながる!
企業・NPOの地域づくりレポート……P9
行政のコンビニによる障害者雇用
明石市役所における「福祉コンビニ」
—株式会社セブン-イレブン・ジャパン—

県社協ニュース……P10

みんなの広場……P11

兵庫から未来を拓く

兵庫県知事

井戸敏三



初春のお喜びを申し上げます。

世界の主要国で次代のリーダーが決まり、新しい国際秩序の構築が求められています。私たち日本も新たな枠組が決まりました。成熟社会にふさわしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めなくてはなりません。

人口減少や高齢化を悲観するのではなく、変化に対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を活かして豊かな地域社会をつくる好機とすべきです。世界に開かれた歴史や文化を有し、多様な人材を輩出して日本をリードしてきた兵庫が、今こそ持てる力を十分に発揮し、未来を拓く先頭に立つて歩んでいくことはありませんか。

一つには、安全安心の基盤をつくる。南海トラフ巨大地震や頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、福祉など暮らしを支える基盤を確保します。

二つには、質の高い生活をつくる。次代を担う人づくりを進めるほか、高齢者や女性の活躍を応援し、誰もが生きがいや豊かさを実感できる社会をめざします。

三つには、新時代の経済社会をつくる。最先端の科学技術基盤を活かした新産業創出、農水産物のひよっこブランド戦略の推進など、世界と競える産業をつくりまします。

四つには、地域の元気をつくる。交通基盤を充実しつつ、地域再生大作戦やツーリズム振興など、内外との交流の促進を通して地域の活性化を図ります。

こうした取組を自らの判断と責任で進めるため、地方分権改革を関西広域連合と一体となって推進するとともに、第二次行革プランの総点検を行い兵庫の自立をめざします。

さあ、二十一世紀兵庫長期ビジョンのもと、県民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結集し「創造と共生の舞台・兵庫」をつくりあげていきたいと思います。

新時代 拓く基は 県民の

知恵と資源を 生かす志

無縁社会から支え合い社会へ

兵庫県社会福祉協議会 会長 武田 政義



新年あけましておめでとー

ございます。

本会では現在、「兵庫県社協2015年計画」に基づき、「認め合い」ともつながり 支え

合う みんなでつくる ひょうごの福祉」をスローガンに、さまざまな事業に取り組んでいるところです。

現代では、「無縁社会」という言葉に象徴されるように、家族や地域、職場のつながりや支え合いが薄れつつあります。そこで、社会への警鐘を鳴らし、県民のみなさんとともに課題を共有して一歩を踏み出すための、「ストップザ・無縁社会」全県キャンペーンを展開することとし、昨年に同キャンペーン推進協議会の設立総会を開催いたしました。

人は、ひとりだけでは生きていくことはできません。お互いを認め合い、ともにつながり、支え合える社会づくりに向けて、広く県民に対して訴えていく所存です。

地域をつくる 市民を応援する共同募金

兵庫県共同募金会 会長 石田 等



新年あけましておめでとー

ございます。

県民の皆さまには、日頃から赤い羽根共同募金運動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成24年は赤い羽根ひょうご運動スローガン「やさしさが、必ずとどく 赤い羽根」を制定し、積極的に運動を進めてまいりました。また、募金の目標額を7億4589万6000円と定め、その達成に向けて懸命に取り組んでまいりました。

お寄せいただいた皆さまからの温かいご支援によりお預かりしました募金は、県内の民間福祉施設や各市区町の社会福祉協議会に配分され、地域福祉事業の財源となるほか、災害時におけるボランティアを支援するための資金としても活用されています。

これからの地域をつくる市民を応援する共同募金として、さらなる地域福祉の推進を目指し、本年も鋭意努力を重ねてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

2012年 福祉のできごと

- 1月 阪神・淡路大震災から17年が経過
- 2月 社会保障税一体改革大綱
- 3月 内閣府「子ども子育て新システム」に関する基本制度
- 東日本大震災から1年が経過
- 4月 診療報酬介護報酬同時改定
「社会保障審議会生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」発足
厚生労働省が孤立死の防止対策に関する通知を发出
- 5月 北関東突風災害発生
- 6月 障害者総合支援法成立
厚生労働省「今後の認知症施策の方向性について」
- 7月 兵庫県立こども発達支援センター開所
「生活支援戦略」中間まとめ
九州北部豪雨災害
- 8月 「障害者政策委員会」発足
「ストップザ・無縁社会」全県キャンペーンがスタート
「社会保障と税の一体改革関連8法成立 京都府南部豪雨災害 自殺総合対策大綱 ロンドンパラリンピック開催
- 9月 認知症施策5か年計画(オレンジプラン) 障害者虐待防止法施行
- 10月 社協生活支援活動強化方針
- 11月 「社会保障制度改革国民会議」発足
- 12月 衆議院選挙

謹賀新年

- 一般社団法人 兵庫県音楽療法士会 理事長 松崎 聡子
- 一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会 会長 垣内 達也
- 一般社団法人 兵庫県介護福祉士会 会長 安達 眞理子
- 一般社団法人 兵庫県介護老人保健施設協会 会長 森村 安史
- 一般社団法人 兵庫県子ども会連合会 理事長 小林 勝弘
- 社会福祉法人 兵庫県視覚障害者福祉協会 会長 岩崎 敏彦
- 一般財団法人 兵庫県肢体不自由児者協会 理事長 鄭正 秀
- 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 会長 土谷 長子
- 兵庫県傷痍軍人会 会長 西川 芳雄
- 公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会 理事長 岡田 和隆
- 公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会 会長 本條 義和
- 特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター 理事長 小川 美知子
- 一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会 会長 蓬萊 和裕
- 公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長 小原 冷子
- 社団法人 兵庫県保育協会 会長 小林 公正
- 一般社団法人 兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田 文徳

(兵庫県福祉センター入居団体・同団体名五十音順)



■図2 兵庫県社会福祉協議会 2015年計画

【福祉社会づくりに向けた全県スローガン】
 認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

協働推進目標

- ①みんなが認め合い、尊厳が守られる地域社会をつくりましょう
- ②みんなが参加し、つながることができる地域づくり活動を育みましょう
- ③みんなでその人らしい暮らしを支える地域ケアや福祉サービスの充実・開発をめざしましょう
- ④みんなが安心・安全を実感できる支え合いネットワークづくりをすすめましょう

兵庫県社協のアクションプラン

【ACTION1】市町域での地域福祉の推進力を高める支援を強化します

【ACTION2】多様な主体がつながり、資源が循環する仕組みづくりをすすめます

【ACTION3】質の高い福祉サービスの充実・開発を支援します

【ACTION4】“暮らしのセーフティネット”の充実・強化を支援します

これまで本紙で紹介してきた具体的な展開

組みである協働推進目標と県社協としてのアクションプランを定めた(図2参照)、これらを実現するために、平成24年度より新たに推進しているのが、「ストップ・ザ・無縁社会全県キャンペーン」だ。

「ストップ・ザ・無縁社会」 絆つなげる 明日へつながる⑦

“無縁社会”から “支え合い社会”へ



本会では、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンを提唱し、県内の福祉・経済・労働など多様な分野の18団体を幹事として、同キャンペーンの推進協議会を8月に立ち上げ、広報・啓発活動を中心に運動を推進しているところである。

今月号では、社会福祉を取り巻く情勢と兵庫県等の動向を踏まえ、「支え合い社会」づくりに向けた展望を共有したい。

おり、このキャンペーンは、「無縁社会」と呼ばれる社会状況を私たちが一人一人が問い直し、お互いの存在を認め合い、人と人がつながり支え合える社会の実現に向けて呼びかけていくという狙いで開始したものだ。8月10日の全県キャンペーン推進協議会の設立総会を皮切りに、3年連続で「無縁社会」をテーマとした第51回社会福祉夏季大会(8月23日)の開催や専用ホームページ(<http://stop-men.jp>)の開設を行ったほか、以下の取り組みを進めているところである。

① 広報グッズの作成

このキャンペーンは、県社協会員にとどまらず、広く県民に対してアピールすることを目指したものであり、そのための啓発活動をいかに効果的に進めるかが鍵となる。そのため推進協議会では、いただいた協賛金を活用して、啓発用のチラシやクリアファイルを進進団体等へ配布するとともに、展示用のノボリやパネルを新たに作成し、第61回社会福祉大会においてお披露目を行ったところである(下記参照)。

新たな時代の福祉社会 づくりをめざして

平成24年は、私たちの生活に直結する大きな改革がスタートした年であった。社会保障の充実・安定化と、そのための安定財源確保と財政健全化の同時達成を目指した「社会保障と税の一体改革」が進められ、消費税の増税を柱とする関連8法案が国会で成立した。その後、各福祉制度の改革も検討が進められ、11月

■図1 これからの兵庫の将来像(「21世紀兵庫長期ビジョン」より)

- 創造的 市民社会**
 - ①人と人のつながりで自立と安心を育む
 - ②兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する
 - ③次代を支え挑戦する人を創る
- しごと 活性社会**
 - ④未来を拓く産業の力を高める
 - ⑤地域と共に持続する産業を育む
 - ⑥生きがいにあふれたしごとを創る
- 環境 優先社会**
 - ⑦人と自然が共生する地域を創る
 - ⑧低炭素で資源を生かす先進地を創る
 - ⑨災害に強い安全安心な基盤を整える
- 多彩な 交流社会**
 - ⑩地域の交流・持続を支える基盤を整える
 - ⑪個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す
 - ⑫世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

第61回兵庫県社会福祉大会を開催しました!

11月30日、高砂市文化会館にて、兵庫県・兵庫県社協・高砂市・高砂市社協の共催で第61回兵庫県社会福祉大会が開催され、県内の社会福祉関係者約1,000人が参加した。

この大会は、「ストップ・ザ・無縁社会全県キャンペーン協賛事業」として開催され、会場内でパネル展示や紹介ムービーの映写が行われたほか、参加者に対して啓発チラシやクリアファイルなどが配布された。これらは、兵庫県遊技業組合連合会青年部会、伊藤喜商事株式会社による協賛を得て実施された。



身振り手振りを交え熱のこもった講演を行う谷五郎氏

大会は、地元ボランティアグループによるコーラスにてオープニングを飾った後、兵庫県知事等によるあいさつが行われた。式典では、社会福祉の向上に貢献された個人と団体に対し、兵庫県知事、兵庫県社協会長等の表彰状が贈呈されるなど、長年の功績がたたえられた。

式典後は、記念講演として「谷五郎のころにきくラジオ」等でおなじみのラジオパーソナリティ谷五郎氏が登壇した。谷氏は、平成21年の豪雨災害時に社会福祉協議会がボランティアを募集するバスに同乗し、佐用町にて初めてボランティア体験をしたことや、その後の中越地震、東日本大震災にもボランティアとして駆けつけた際の体験談などを交えながら、人と人が支え合うこと、絆やつながりの大切さなどについて語りかけ、参加者は熱心に聞き入った。



晴天のもと、キャンペーンのパネル展示を実施



「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン 幹事団体からのメッセージ

今こそ“家族の絆”の復活を!

新年あけましておめでとうございます。

戦後、日本人は個人の権利と選択による生き方を至上のものとしてきましたが、経済発展とともに個人の生活が核家族という形態に変化し、家族を中心とした生活が崩れてしまいました。その結果として、我が国は少子高齢化の先進地として、“無縁社会”といわれるような、希望の持てない国になりつつあります。

まだ遅くはありません。今こそ“家族の絆”を取り戻し、自分を今日まで育ててくれた親や社会からの恩を返していくという責任を、一人ひとりが持たなければなりません。いじめの事件が問題になりましたが、何より自分の子どもは自分が守り、親としての責任を果たすべきだと感じています。

その上で、「向こう三軒両隣」という古き良き言葉にみられるような地域の再構築が必要です。隣の家

の雨戸が閉まったままなら、「おじいちゃん、大丈夫?」と声をかけるのが普通であり、そうすることで孤独死は自然と無くなるでしょう。そして最後に、家族や地域ではどうにもできない部分を公が担うという「公助」が来るのだと思います。

地域で何かを行う時に核になるのは、やはり婦人会や自治会、子ども会です。それらが一体となってはじめて地域の活力が取り戻せると思います。兵庫県連合婦人会では、これまでの歴史と組織力を継承して、婦人会活動を一層活性化させながら、人としての生き方を次の世代に引き継いでいくことの必要性を感じています。



兵庫県連合婦人会
会長 北野 美智子さん

地域のおせっかいを今一度

親が我が子を虐待する。子が親を遺棄する。生徒が優先座席に大股で座る。通勤電車で若者が朝食を食べ、化粧する。こんな報道や光景がよく目に触れる時代になったと思いませんか?

私は専門家ではないので、それらの現象をどうこう論じる気はないが、戦後、自分が青年であった頃と比較することならできる。

昔は、どこにでも口うるさい親父とおせっかいなおばさんがいて、自分の子でなくても、していいこととしてはいけないことをあれこれと口出したものだ。

ガキ大将と呼ばれる上級生が、近所の下級生を統率し、遊びの中で悪さの許される極限を教えていた。つまり、地域が子育てを担っていたともいえる。

最近では、少子高齢化や核家族化が急速に進み、我が家は我が家、隣は隣の風潮が蔓延し、特に都会で

は、青年団もなくなり、自治会活動も沈滞している所が多く見受けられ、地域コミュニティにおせっかいが期待できなくなってしまったことが、無縁社会を生む要因ではないだろうか。

商工会は、主に郡部で中小企業・小規模事業者の経営改善普及事業を担うのが本務であるが、市町行政の地域コミュニティ維持活動や警察行政の青パト活動など、地域社会全体の活性化に向けた取り組みにも尽力しており、「ストップ・ザ・無縁社会」の実現にも鋭意努力をしてみたい。



兵庫県商工会連合会
会長 木南 岩男さん

全県キャンペーンでは、皆さんからのメッセージを募集しています。

ホームページ(<http://stop-muen.jp>)等を通じて、率直なご意見を事務局までお寄せください!

■図3 県内各地で開催される「地域フォーラム」

- 地域福祉講座(相生市社協、10月20日)
- 支部まつり(南あわじ市社協、10月20日~12月22日)
- みんなの社協フェア(高砂市社協、11月18日)
- 「ほっとけない!」地域づくりを考える集い(三木市社協、11月18日)
- 養父市社協のつどい(養父市社協、12月1日)
- 佐用町地域福祉研修会(佐用町社協、12月9日)
- 第6回全国校区・小地域福祉活動サミットinKOBÉ・ひょうご(神戸市社協、1月12日)
- 宍粟市地域福祉のつどい(宍粟市社協、2月10日)
- かいご学会in西宮2013(西宮市社協、2月19日)
- 権利擁護研修(芦屋市社協、2月19日)
- あったか友愛推進大会(加西市社協、2月中旬)
- 地域見守りフォーラム(伊丹市社協、3月14日)

②地域フォーラムの開催
キャンペーンでは全県的な運動推進の観点から、市町域・ブロック域での啓発イベントの開催支援を行うべく予定だ。幹事団体や市町社協では、キャンペーンの趣旨に沿った地域フォーラムをすでに開催しているところもある(図3参照)。

③調査・研究活動
「無縁社会」を解消するためには、具体的な処方箋の検討も必要となる。県社協では平成24年度に「小地域福祉活動実践研究会」を実施して

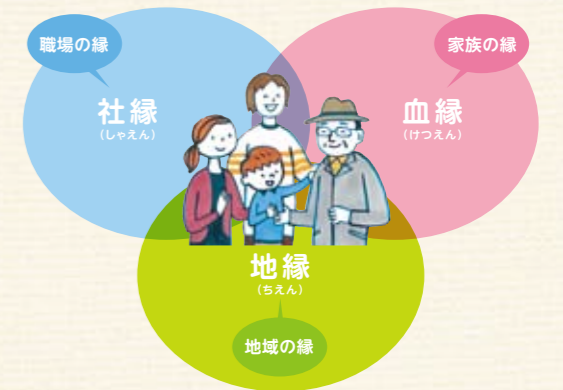
「支え合い社会」の実現に向けて

おり、その成果を基に、「見守り活動ハンドブック(仮称)」を作成する予定だ。また、県社会福祉施設経営者協議会とともに、「社会福祉法人の取り組みに関する実態調査」を実施し、社会福祉法人が地域社会でさらに力を発揮するための方向性を検討している。

今後は、推進協議会の総会や幹事会を開催するとともに、キャンペーンの全県的な普及啓発の取り組みを一層強化し、市町域での取り組みが進むよう、市町社協等と連携して、情報発信を中心に運動推進を行うべく予定だ。

少子高齢化やライフスタイルの変化などにより、これまで私たちを支えてきた「縁(図4参照)が薄れつつある。多くの課題を抱える社会保障制度と同様、地域社会を巡る状況は「待ったなし」の状況にあるといえる。人は、一人では生きてはいけない。「無縁社会」は私たち一人一人の問

■図4 私たちを支える「3つの縁」



題であり、失われつつある地域での支え合いの大切さを再認識しようという働きかけである。支え合い社会を実現するためには、地域での見守り活動や「向こう三軒両隣」の関係を促すあいさつ運動など、さまざまな取り組みが考えられるだろう。

私たちはこれからもより多くの県民に理解と協力をいただきながら、「認め合い」ともつながり「支え合い」みんなでつくる「ひょうごの福祉」を目指して、つながりの輪を広げていきたい。

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会

(事務局 兵庫県社会福祉協議会)
TEL 078-242-4633
URL <http://stop-muen.jp>

【協賛金振込口座】

金融機関 ゆうちょ銀行
口座番号 00900-4-195362
口座名称 ストップザ無縁社会全県キャンペーン推進協(ストップザムエンシャカイゼンケンキャンペーンスイシンキョウ)

方法③ 協賛金に協力する

●このキャンペーンは、皆さまからの協賛金によって進められます。協力いただける場合は、左記口座へ協賛金をご送金ください!

方法② 広報や協賛イベントを行う

●各団体で発行される機関紙やホームページでキャンペーンの広報にご協力ください!

方法① 推進団体として参加する

●特別な参加要件はありません。ホームページより参加同意書をダウンロードして事務局まで提出ください!

キャンペーンへの参加をお待ちしています!

本キャンペーンへの参加方法は、大きく分けて3つあります。あなたにできることから、一歩を踏み出してみましょう!

まちとつながる・住民とつながる!
企業・NPOの地域づくりレポート



市役所内のコンビニによる障害者雇用は全国でも珍しい



市内障害者作業所等の授産品販売

行政のコンビニによる障害者雇用
明石市役所における「福祉コンビニ」株式会社セブンイレブン明石市

雇用拡大を通じて
障害者の自立を支える

明石市が障害者の就労支援を目的として、市役所の中にコンビニ「セブンイレブン明石市役所店」を平成19年11月に開設してから5年が経った。田中オーナーはこのスタッフは熱心で、仕事に対して思い入れを持っているから安心して仕事を任せられる。身体の不調がない限り突然休むということもない」と話す。

また、接客態度が良いという評判もあり、セブンイレブン本部へのクレームは皆無だ。市役所の中にあるため、土日祝日が休みであり、利用客の大半が市職員の固定客で「福祉のコンビニ

二」と認識されているなど、スタッフが働きやすい環境が整っている。

仕事に対する意識も高いことから、開設当初より働くスタッフ一人は、今ではオーナー不在時の責任者として店を任されているほどだ。レジ・発注・検品・梱卸等の基本的な業務はもちろん、発注からディスプレイ、ポップ広告の作成まですべて行い、扱いが難しい新商品の発注も行っている。

「病気を理由に逃げてはだめ！」

明石市役所店では、通常の商品に加え、市バス回数券や粗大ごみチケット、明石天文科学館のチケットの販売のほか、市職員の名刺の受注や、市内障害者作業所等での授産品販売なども行っており、他店よりも取り扱う商品が多い。だが、スタッフは昼のピーク時もテキパキと仕事をこなしている。

開設当初から働き、リーダーとして皆をまとめているスタッフは、「初めの頃は本当に大変だった。初めてレジに立った時は足がガクガクして、絶対間違っただけいけないものすごく緊張していた。ピーク時の12時が嫌になるくらい



お昼のピーク時にはお客が列を作ってレジを待つ



次々とレジをこなすスタッフ

だったが、もう大丈夫。ここまでできるようにするには思いもよらなかった。今はみんなで話し合いながら仕事を進めている。病気を理由に逃げたらあかん、この仕事に「ゴールはない」と意気込みを語ってくれた。

現在、国では企業による障害者の雇用促進についての議論が継続して行われている。企業と市役所の連携による、先駆的な「福祉コンビニ」の取り組みに注目が集まる。

株式会社セブンイレブンジャパン 明石市役所店
オーナー 田中正洋
所在地 兵庫県明石市中崎1丁目5-1
明石市役所本庁舎2階ロビー北側
営業時間 8時～18時
TEL 078(914)6226

私たちは、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンを推進しています!

幹事団体

- 兵庫県連自治会
- 兵庫県連婦人会
- 神戸市婦人団体協議会
- 兵庫県消費者団体連絡協議会
- 兵庫県子ども会連合会
- 兵庫県社会福祉協議会
- 兵庫県市町社協活動推進協議会
- 神戸市社会福祉協議会
- 兵庫県民生委員児童委員連合会
- 神戸市民生委員児童委員協議会
- 兵庫県社会福祉施設経営者協議会
- 兵庫県老人クラブ連合会
- 兵庫県医師会
- 生活協同組合コープこうべ
- 兵庫県商工会議所連合会
- 兵庫県商工会連合会
- 兵庫県経営者協会
- 日本労働組合総連合会兵庫県連合会

推進団体

- 県内49市区町社会福祉協議会
- 尼崎医療生活協同組合
- 家庭看護促進協会
- きょうされん兵庫支部
- 近畿労働金庫兵庫地区統括本部
- 神戸医療生活協同組合
- 神戸済済会病院
- 神戸市児童養護施設連盟
- 神戸市消費者協会
- 神戸市私立保育園連盟
- 神戸市身体障害者施設連盟
- 神戸市知的障害者施設連盟
- 神戸市乳児院連盟
- 神戸市母子生活支援施設協議会
- 神戸市老人福祉施設連盟
- 神戸新聞会館
- 神戸新聞厚生事業団
- 神戸YMCA
- 神戸YWCA
- こころ豊かな人づくり500人委員会 神戸OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 阪神北OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 北播磨OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 中播磨OB会

- こころ豊かな人づくり500人委員会 西播磨OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 但馬OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 丹波OB会
- こころ豊かな人づくり500人委員会 淡路連絡会
- 中山視覚障害者福祉財団
- 二水会
- 日本公衆電話会兵庫支部
- 日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会
- 日本赤十字社兵庫県支部
- 日本ボーイスカウト兵庫連盟
- 日本郵政グループ労働組合兵庫連絡協議会
- 認知症の人と家族の会兵庫県支部
- 姫路消費生活研究会
- 兵庫医療生活協同組合
- 兵庫県生きがい創造協会
- 兵庫県いけばな協会
- 兵庫県医療福祉施設連盟
- 兵庫県医療ソーシャルワーカー協会
- 兵庫県音楽団体協議会
- 兵庫県介護支援専門員協会
- 兵庫県介護福祉士会
- 兵庫県介護福祉士養成校連絡協議会
- 兵庫県介護老人保健施設協会
- 兵庫県看護協会
- 兵庫県共同募金会
- 兵庫県漁業協同組合連合会
- 兵庫県勤労福祉協会
- 兵庫県芸術文化協会
- 兵庫県健康財団
- 兵庫県建設業協会
- 兵庫県更生施設連盟
- 兵庫県更生保護施設連盟
- 兵庫県交通安全対策委員会
- 兵庫県茶道協会
- 兵庫県歯科医師会
- 兵庫県視覚障害者福祉協会
- 兵庫県私学総連合会
- 兵庫県肢体不自由児者協会
- 兵庫県児童養護連絡協議会
- 兵庫県社会就労センター協議会
- 兵庫県社会福祉事業団
- 兵庫県社会福祉士会
- 兵庫県社会教育委員協議会
- 兵庫県商工会女性部連合会
- 兵庫県商工会青年部連合会
- 兵庫県身体障害者支援施設協議会
- 兵庫県身体障害者福祉協会

- 兵庫県人権啓発協会
- 兵庫県森林組合連合会
- 兵庫県生活協同組合連合会
- 兵庫県青少年赤十字協議会
- 兵庫県青少年本部
- 兵庫県精神福祉家族会連合会
- 兵庫県精神保健福祉士協会
- 兵庫県青年洋上大学同窓会
- 兵庫県赤十字奉仕団
- 兵庫県体育協会
- 兵庫県体育協会 兵庫県スポーツ少年団
- 兵庫県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- 兵庫県知的障害者施設協会
- 兵庫県中小企業団体中央会
- 兵庫県聴力言語障害者連合会
- 兵庫県手をつなぐ育成会
- 兵庫県難聴者福祉協会
- 兵庫県乳児院連盟
- 兵庫県BBS連盟
- 兵庫県PTA協議会
- 兵庫県病院協会
- 兵庫県婦人共励会
- 兵庫県保育協会
- 兵庫県ホームヘルプ事業者協議会
- 兵庫県保護司会連合会
- 兵庫県母子生活支援施設協議会
- 兵庫県ボランティア協会
- 兵庫県民間病院協会
- 兵庫県薬剤師会
- ひょうご県友会
- 兵庫県ユースホステル協会
- 兵庫県理学療法士会
- 兵庫県立高等学校PTA連合会
- 兵庫県老人福祉事業協会
- 兵庫県労働者福祉協議会
- 兵庫工業会
- ひょうごセルフヘルプ支援センター
- 兵庫盲導犬協会
- フードバンク関西
- メインストリーム協会
- 野外活動協会

(五十音順)

推進団体177団体

(平成24年11月20日現在)
(内訳)幹事団体18団体
参画同意159団体

※市区町の民児協は、代表として県民児連・神戸市民児協が加入

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会では、参画団体を引き続き募集しています。
お問い合わせは、推進協議会事務局(兵庫県社会福祉協議会 TEL078-242-4633)まで。

社会福祉法人の将来構想を問う

12月11日、兵庫県経営協が施設経営トップセミナーを開催した。今年度のテーマは「経営者に必須の情勢分析と将来を見据えた経営戦略」とは。社会福祉法人を取り巻く情勢動向を踏まえ、今後の将来構想を描くための経営者の役割等を学ぶことを狙いとした。

まず株式会社伍魚福代表取締役社長の山中勸氏より、「自創経営」という社員の自主性と創造性を重んじる同社の先駆的な経営手法のほか、経営革新の事例紹介が行われた。続いての基調講演では、厚生労働省社会・援護局総務課長の古都賢二氏より、新たな生活困窮者支援体系の構築と生活保護制度の見直しを柱とした「生活支援戦略」につ



社会福祉法人の将来構想について熱心に議論した鼎談

いて、全国の先駆的事例を交えながら、社会福祉法人に期待する役割が語られた。

その後、古都氏、社会福祉法人中心会理事長の浦野正男氏、社会福祉法人やながせ福祉社会理事・施設長の石田文徳氏により、社会福祉法人の将来構想に関する鼎談が行われた。最初に古都氏より、「社会福祉基礎構造改革の当時、社会福祉法人には社会福祉事業の主たる担い手として、地域の福祉ニーズを満たすことを期待されていたが、現状では十分とは言えないのではないか」との提起が行われた。

これを受けて、石田氏からは、県老人福祉事業協会での地域貢献事業の調査結果の報告がなされた後、生活支援戦略との関係性の整理に対する問いかけがなされた。さらに浦野氏より、神奈川県での社会貢献事業の取り組みの説明を交え、社会福祉法人の役割等について議論を深めた。最後に、社会福祉法人の将来構想について各登壇者より考えが述べられ、盛会のうちに終了した。

次年度に向け3部会で協議をスタート!

県社協では、12月4～6日に地域福祉推進部会・権利擁護部会・福祉事業推進部会を開催した。これらの部会は、県社協の目的を達成するために、事業の推進について専門的に協議し、会長に対して意見具申するために設けているもので、役員改選後、新部会員による初めての開催となった。

今回の部会では、国政の状況が

不透明な中で、平成25年度の県社協の事業方針と「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの次年度の展開について協議が行われた。今後は、各部会での意見をふまえ、12月18日の理事会、評議員会にて協議を経て事業方針を決定し、具体的な事業計画、予算案をとりまとめるべく予定している。

各部会で出された主な意見

- 地域福祉推進部会(12月4日開催)

【部会長:稲野 廣(宝塚市社会福祉協議会理事長)】

 - *施策として新たな仕組みをつくるのはいいが、今後数十年で社会構造が大きく変わることも見据え、社会的なコストを考えながら機能を整理していくべきはないか。
 - *現代は複合的な課題を抱え、生活全般に困っている人が多い。そうした人を支える核となるのが社会福祉協議会である。
- 権利擁護部会(12月6日開催)

【部会長:加納 多恵子(兵庫県民生委員児童委員連合会会長)】

 - *地域の中で困っている人をいかに早期把握するかがすべての基本にある。当事者本人からも声をあげてもらいながら進めていくのが良い。
 - *子どもたちの登下校時に高齢者に散歩をしてもらうなど、負担のかからない見守りや声かけを行っていくことで、みんなが参加できるのではないか。
- 福祉事業推進部会(12月6日開催)

【部会長:婦木 治(兵庫県社会福祉施設経営者協議会会長)】

 - *福祉業界にも競争原理が入っており、社会福祉法人は民間企業に比べて人材確保などのノウハウが弱い部分がある。これからは発想の転換が求められる。
 - *介護保険事業計画について、施設整備が盛り込まれるのはいいのだが、人材確保についての記載がない地域が多いので、そこへのアプローチも必要ではないか。
 - *福祉事業者のことを社協職員も知らなければならない。住民組織、地域包括支援センター、社協だけでネットワーク化するのではなく、施設も含めたネットワーク化をはかるべきである。

生活支援戦略から今後の社協の取組みを協議

12月11日には、県内社協事務局長会議を拡大したの社協活動推進セミナーも開催された。生活困窮者支援を目的とした「生活支援戦略」を題材として、今後の社協の取組みの方向性を協議。生活支援を担う担当者等を含め82人が参加した。



パネリストからは、県内社協への期待も語られた

セミナーでは、厚生労働省の古都課長より同戦略の意図と内容が説明された後、大阪府豊中市社協の勝部麗子氏から、生活困窮や制度の挟間にある課題への支援の実践事例を紹介いただいた。生活課題の相談を断らず支援につなげるための相談機能の強化と、社協と行政・関係機関との連携の必要性が確認された。

寄贈について(お礼)

11月28日、関西遊技機商業協同組合から、兵庫県社会福祉協議会へ車椅子8台が寄贈された。同組合では、今年度より社会地域貢献活動の一環として、近畿2府4県の府県社会福祉協議会に対して車椅子の寄贈事業を展開している。「県内で車椅子を必要としている方に使用してほしい」という意向



により、本会を通じ県内の4市社協に車椅子の寄贈を行った。

「さんだボランティアバス」のメンバーから寄せられたコメント(一部)

- きつとあの後もご苦労されてつくられたお米。かえて申し訳なく感じます。私自身、「東北応援」と書いてあるものを買うようにしていますが、それをつくった人たちのことを想像したことはあまりなかったかもしれません。でも、その一つ一つに復興のための努力と苦労があるんですね。あらためて伊藤さんにお礼を言いたいと思います。
- 大変な中、未来に向けて歩み続けられていることに感動しました。そしてこの感動を共有させていただくことができ本当に感謝します。今後も一緒に頑張りたい気持ちを新たにしました。

送られてきたお米は、三田市社協が企画する地域のいろんな人が協力合って災害を乗り越えるための行動を考える研修会の開催に合わせて、皆さんと共に美味しくいただきたいと思います。ありがとうございました。

みんなの広場

兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです

「奇跡の復活米」をありがとう!

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会

東日本大震災で自宅や水田が津波の被害に遭った宮城県気仙沼市の伊藤平一さんから、三田市のボランティアの活動先だったことがご縁で「奇跡の復活米」と銘打ったお米が送られてきました。昨年7月、初めてボランティアの支援を受け、三田の人たちとふれあう中で、諦めかけていた稲作をもう一度頑張ろうという気持ちになられたのだそうです。その後も多くの人たちの支援を得ながら一つ一つ手作業でがれきを撤去し、塩抜きのための引水を繰り返し、ようやく稲苗の植え付けができたのです。



お米とともに添えられた手紙には、「絶望に打ちひしがれていた時に、全国からいただいたご支援とボランティアの方々の献身的な活動が、復興への大きな歩みとなりました。収穫できたことはまさに奇跡としか言いようがありません」と書かれていました。

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会
 連絡先 〒669-1514 三田市川除675番地 三田市総合福祉保健センター内
 ☎079-559-5940 FAX079-559-5704 E-mail info@sanda-shakyo.or.jp

アピールしたい活動の情報をお寄せください。

お問い合わせ先 兵庫県社協 総務企画部 ☎078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail info@hyogo-wel.or.jp

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細については、それぞれの問合せ先にご確認ください。

公益財団法人未来のつばさ財団 2012年度育英奨学・自立支援制度

たくさんの夢や希望を持つ人を応援します。対象 児童養護施設入所児童や、母子生活支援施設入所児童、里親家庭の児童、ファミリーホーム入居児童、その他の児童福祉施設入所児童で、原則として18歳を迎え進学・就職する予定の児童

支援金額 進学者:進学の支度金として一人15万円。就職者:就職の支度金として一人15万円

締切り 平成25年1月25日(金) 必着

公益財団法人未来のつばさ財団 TEL03-5642-7890

URL http://mirainotsubasa.or.jp/

ひょうごボランティアプラザ 平成24年度NPO活動応援貸付

兵庫県内で行われているNPO活動の継続、さらなる発展を応援します。

対象 兵庫県内に主たる事務所を置いており、1年以上継続して県内で活動しているNPO法人、またはNPO法人に準ずる団体で、県内を対象とする事業

貸付金額 50万円以上600万円以下

利率 年1.55%(平成24年12月現在)

返済期間・方法 7年以内(うち6カ月以内据置可能)元利均等月賦方式による返済

連帯保証人 貸付希望団体の代表者のほか、2人以上必要

締切り 平成25年2月15日(金)

ひょうごボランティアプラザ TEL078-360-8845

URL http://www.hyogo-vplaza.jp/

募集

受動喫煙防止のための表示用ステッカーとのぼりを配布

兵庫県では、施設管理者が利用者の目に付きやすい場所に表示するための「表示用ステッカー」と、普及啓発用の「のぼり」(旗のみ)を作成しました。

施設管理者、事業者の皆さまに県庁、各健康福祉事務所の窓口で無償配布しています。

兵庫県健康福祉部健康局受動喫煙対策室 TEL078-341-7711(内線3245)

URL http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf26/hyouzi.html

研修・イベント

避難者のための就労支援講座

東日本大震災で関西へ避難されている方々を対象に、就労するための支援講座を開催します。「仕事に就きたいけれど、どうしたらいいかわからない」「どこに相談に行ったらいいの」の疑問に答えます。

日時 平成25年1月11日(金)~2月7日(木) ※全5回、各回10:00~12:00

内容 「マナー」「メイクアップ」「パソコン」の各講座など

参加費 無料※無料託児付(要予約)

締切り 平成24年12月27日(木)

宝塚NPOセンター TEL0797-85-7766

URL http://hnpo.net/

今いき方を考える かいご学会 in 西宮 2013

介護・医療現場で活躍する講師陣や介護家族がともに、それぞれの生き方と逝き方を語り合います。

日時 平成25年3月3日(日)10:00~16:45

会場 関西学院大学G号館

参加費 3,000円(学生1,000円)

講師 三好春樹さん(生活とリハビリ研究所代表)、鳥海房枝さん(特養あじさい荘 総合ケアアドバイザー・NPO法人メイアイヘルプユウ 事務局長)、竹本匡吾さん(湖山いくのさん家代表)ほか

特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん TEL&FAX0798-35-0251

URL http://www.geocities.jp/tsudoiba_sakurachan/

福祉の就職総合フェア in HYOGO

福祉職場への就労を希望する学生や一般求職者の就職活動を支援するとともに、社会福祉施設等の人材確保を目的として、合同就職説明会を開催します。

※併催イベント「福祉の就職ガイダンス」(11:00~12:00、要予約)

日時 平成25年3月2日(土) 13:00~17:00

場所 神戸サンポーホール

対象 学生・一般求職者

参加費 無料(事前申し込み不要)

内容 合同就職説明会、採用予定情報の提供、各種相談コーナーの設置など

兵庫県社会福祉協議会 兵庫県福祉人材センター TEL078-271-3881

URL http://www.hyogo-wel.or.jp/

行事予定

1月16・23日 職場内研修担当者研修(Aコース) ◆社会福祉研修所

8日~ 主任介護支援専門員研修 ◆県のじぎく会館ほか

10・11日 社会福祉援助基礎研修(Bコース) ◆社会福祉研修所

12日 第6回全国校区・小地域福祉活動サミットinKOBE・ひょうご ◆神戸国際展示場ほか

新年福祉のつどい ◆ANAクラウンプラザホテル神戸

13日 地域の福祉力セミナー ◆神戸国際会議場

16日 第3回新任民生委員研修会 ◆県中央労働センター小ホール

18日 経営協 理事会・例会 ◆ANAクラウンプラザホテル神戸

22日~ 介護支援専門員実務研修 ◆舞子ビラほか

24・25日 接遇・日常マナーリーダー研修 ◆県福祉センター

25・26日 ボランティアコーディネーター研修(災害ボランティアコーディネーター養成研修) ◆神戸市内

28日 会計実務者研修(社協コース) ◆県福祉センター

28・29日 県民児連会長等研修 ◆ポートピアホテル

29日 社会福祉法人人事・労務管理研修 ◆社会福祉研修所

30・31日 相談面接技術研修・初級(Bコース) ◆社会福祉研修所

31日 第2回県内社協地域組織担当者会議 ◆県福祉センター

2月 5日 障害福祉施設系事業所中堅職員研修 ◆県中央労働センター

6・13日 職場内研修担当者研修(Bコース) ◆社会福祉研修所

8日 会計実務基礎講座(通信課程)スクーリング ◆社会福祉研修所

12日 第3回県内社協地域組織担当者会議 ◆県福祉センター

14~15日 相談面接技術研修・中級(Bコース) ◆関西学院大学

16日 メンタルヘルス研修会 ◆県福祉センター

小さいけれどしっかりサポート 白石の救急箱・常備薬 白石薬品株式会社

介護専門職の総合情報誌 おはよう21 毎月27日発売・A判・100頁 通常号定価950円(税込)